



特集 「中洲クラブ」

今回は、地域の皆さんに「中洲クラブ」の活動を知っていただきたい、という願いで、特集を組み、学校が発行している『中洲クラブだより』から転載させていただきました。保護者の皆さんにも、もっともっと関心をもっていただき、より多くの児童の皆さんに参加してもらえれば、と思います。

◆大きく育て！じゃがいもの種いもを植えました

4月12日(土)に、「今年度第1回中洲クラブ～じゃがいも植え～」が行われました。

今回は集まっていたスタッフのみなさんと参加してくれた15名ほどの子どもたちでじゃがいもの種いも植えを行いました。…(中略)…植えたじゃがいもの種類は、「男爵」「メイクイーン」「キタアカリ」「アンデス」の4種類です。…

(中洲クラブだより 2号 (4.18 発行) から抜粋)



◆どろんこになって、がんばりました！

4月26日(土)、畦塗りを行いました。毎年この日だけは大人のみで活動をしています。というのもこの日の活動「畦塗り」は繊細かつ力が必要な作業だからです。そんな活動の中、講師の後町さん、上原さん、平林会長の力と技が兼ね備わったプロの技を見ることができました。5月10日(土)には、子どもたちが参加



して田植えをおこないました。均等に間隔をとって、風が吹いても倒れないように、印のところへ苗を3～4本ずつ、最初の葉っぱまでしっかり植えられるように説明を受け、いざ田んぼへ入りました。始めは思うように泥のなかを歩くことで精いっぱいでしたが、ひとつひとつ丁寧に、愛情をこめて植えました。時には、足下をとられて尻餅をついたり、バランスをくずしたりして、どろんこになりながら、(中洲クラブだより 3号 (5.13 発行) から抜粋)

一生懸命がんばりました！

◆夏野菜を植えました

5月18日(日)、中洲クラブの畑に夏野菜を植えました。もともと、前日の17日(土)に植える予定でしたがあいにくの大雨で、一日延期になりました。当日は天気にも恵まれ、無事植えることができました。

低学年を中心に10組ほどの親子が集まり、サツマイモ、枝豆、トウモロコシの苗を植えました。

まず、後町さんからそれぞれの野菜の植え方について、実演を交えて教えていただきました。どの野菜にも植え方のポイントがあり、慎重に作業を行いました。

特にサツマイモは、マルチの穴から斜めに溝を掘り、苗を斜めに植え込んで土をかぶせ、最後に湿らせた新聞紙で穴を塞いでサツマイモに枕をかうなど、難しい作業が伴ったので真剣に植えました。… (中洲クラブだより 4号 (6.9 発行) から抜粋)



◆中洲クラブって何？

中洲小学校はコミュニティ・スクールです。本校には学校運営協議会があり、6つの部会があります。その1つの部会が**ものづくり部会**です。中洲クラブは、その中において、PTA 役員や地域の方の協力を頂きながら運営されている**子どもたちのための農業体験クラブ**です。

「地域総合クラブ」として発足してから**今年で 22 年目**となります。「異年齢集団での活動」「自然や中洲の特徴を生かした活動」「地域の方と共に行う活動」といった、交流・体験活動を通して子どもたちの学びを育むことをねらいとしているクラブです。中洲小学校の児童であれば、誰でも参加できます。

◆今年度の活動計画予定

月	田の活動	畑の活動	その他の活動
4	② 26日 あぜ塗り	① 12日 ジャガイモ植え	
5	③ 10日 田植え	④ 17日 夏野菜植え	
6		⑤ 14日 畑の草取り	14日 魚釣り
7		⑥ 19日 夏野菜収穫	
9	⑦ 20日 稲刈り		
10		⑧ 4日 やきいも	
11		⑨ 22日 もちつき	
3			(スタッフ会議)

(中洲クラブだより 1号 (4.4 発行) から抜粋)

※『中洲クラブ』特集、いかがでしたか？ このように、学校教育では十分にできない活動を、続けていくには、地域の皆さんの熱い思いがあつてこそです。

かりんの苗木を植えました (交流教育部会の支援)

小学校では、1,6年の姉妹学級によるかりん栽培活動を中心にした「かりん交流」を、毎年行っています。残念なことに、近年病虫害などにより、小学校に植えられているかりんの樹木が少しずつ減ってきています。そこで、諏訪市にお願いしたところ、かりんの苗木 10 本をいただけることになり、交流教育部会の黒澤部長さんが、市から受け取って、5月14日に届けてくださいました。



さっそく、6年生が5月20日に、苗木を8本植えました。校地の中で植えられそうな場所を探し、黒澤さんからのアドバイスをもとに、穴を掘って苗木を入れ、土をかぶせて、「ちゃんと根付いてね」という想いを込めて、水をたっぷりあげました。



残りの2本は、先生たちが四賀小に呼びかけて、お渡しすることになりました。かりんを通して、四賀小との交流も始まりそうです。